

専門課程シラバス

授業科目	小児看護学実習			担当者	渡邊雅美		
開講時期	2学年後期～ 3学年後期	授業の方法	臨地実習	単位数	2	時間数	90
授業概要	<p>小児期にある対象とその家族を理解し、個々の健康レベルや成長・発達段階に応じた看護が実践できる基礎的能力を養う。</p>						
授業計画	<p><小児科外来実習></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 小児各期の特徴を理解し、小児の成長発達に応じた看護と、健康障害を持つ小児とその家族に対する看護を学ぶ 2. 小児科外来を訪れる小児とその家族を理解し、必要な援助を指導者と共に行い、外来看護役割を学ぶ。 3. 調整日を含め、5日間の実習を行う。 4. 毎日1名の患児を受け持ち、受診目的、症状、検査、診断、治療また、発達段階に応じたかかわり方を根拠をふまえてアセスメントする。 5. 実習最終日に振り返りの会を行い、学びを振り返り、指導者から助言を受ける。 <p><保育園実習></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 子どもの正常な成長発達段階を理解する。 2. グループ4～5名で、発達段階に応じたクラスを担当し、指導保育士の指導の下、園児の保育を行う。 3. 保育士と、子どものかかわり方を見学し、発達段階に応じたかかわりについて学ぶ。 4. 実習期間は4日間とし、実習最終日に振り返りの会を行い、学びを振り返り、指導者から助言を受ける。 <p><総合支援学校></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習を通して、障害のある子供の理解を深め、看護師としての役割について考えることができる。 2. 3日間の実習のうち、1日目は学習発表会に参加する。 3. 2日目、3日目は、児童、生徒を1名受け持ち、障害を持つ子どものかかわり方を学ぶ。 4. 実習最終日に担当した児童生徒のクラス担任とカンファレンスを行い、疑問に思ったことや、かかわり方の助言を受け、学びを深める。 						
テキスト 参考文献	<p>系統看護学講座 専門分野 小児看護学1小児看護学概論 小児臨床看護総論 第14版 系統看護学講座 専門分野 小児看護学2小児臨床看護各論 第14版 写真でわかる小児看護技術アドバンス</p>						
成績評価 の方法	<p>実習評価表に基づいて、実習目標の到達度、提出物、実習態度により総合的に行い、学生・教員で評価を行う。小児科外来実習は評価点を70%換算、保育園実習と総合支援学校は評価点を30%換算し小児科外来と合算する。60%以上を合格とする。</p>						